

市長と中学生の懇談会

■努力を継続する力を身に付けてほしい

suzuki kazuo
鈴木和夫市長



大信中と白二中で、「市長と中学生の懇談会」が行われ、鈴木市長の講話と生徒会役員による懇談が行われました。同懇談会は、今年で3年目にあたり、地域に対する正しい認識と誇りを持ってもらうことを目的に実施されているものです。

鈴木市長は講話の中で「人生において、努力が100%報われるわけではありません。一生懸命に頑張ったからといってすべての人が100点を取れるとは限りません。私は数学が嫌いでした。数学が分からないなりに、当時は分かろうと努力しました。その努力する過程が、人生において、生きるうえで、最も大切な力になると考えています。どうぞ、努力を継続して行く力を身に付けてください」と目標に到達するまでの努力の大切さについて話しました。

また、懇談では、中学生から新図書館への期待や要望、中心市街地の考え方のほか、B級グルメのまちおこしや市のキャラクターの設置などについて話をしました。



□大信中／12月20日

全校生118人が出席し、市長の講話と生徒会役員との懇談が行われました。



□白二中／1月31日

1・2年生約400人が出席し、市長の講話と生徒会役員との懇談が行われました。

懇談会を終えての感想を紹介

杉原駿男さん（白二中学生徒会長）

中学生だからこそできることを実践したい

市長さんの講話は、市のことや白二中のことを考える、とても良い機会となりました。市に貢献できることはないか、中学生の私たちだからこそできることはないかと、真剣に考えました。

高砂明白華さん（大信中元生徒会長）

自分の夢のために努力を続けます

市長さんの講話の中で、努力することの大切さを実感しました。受験前に聞いた市長の言葉を信じて受験に望みました。今後は、自分の夢のために、努力を続けたいと思います。

輝きの記録

ごみに関するポスター展
最優秀賞



八取
小史
あき
くみ
（関
辺
小
4
年
）



「ポイすては心のしみをすること」

このページは、市民の皆さんに登場していただくページです。登場してくれる方を大募集。皆さんからの情報をお待ちしています。

◇連絡先 本庁舎秘書広報課
〒961-8602 白河市八幡小路7-1
☎@1111 内線2373/FAX@2577
Eメール hisho@city.shirakawa.fukushima.jp

ラウンジ しらかわ



わたしたちの輪
善意の窓
ちょっといいはなし
輝きの記録

みんなの居場所「ぶらり。」 - こども緊急サポートネットワーク白河中央支部



◇Deta◇

代表 小林富子（七番町53）
スタッフ 7人
登録 事前登録（年会費1,000円）が必要です。
料 病児・病後児 900円・一般のお子
金 さん 700円（昼間1時間あたり）
受付時間 平日午前9時～午後5時
連絡先 ☎236450

◇ママやパパの“困った”に対してサポートします◇

「保育園から子どもの体調不良を知らされたけれど、すぐには会社を出られない」「出張などで子どもの面倒はどうしようか」など、仕事と育児を両立する上で、困ったことはありませんか。

「ぶらり。」のこども緊急サポートネットワークは、病児・病後児（回復時）の預かりなどの援助を受けたい方と、援助を行いたい方が会員となり、仕事と育児の両立をサポートする会員組織です。

代表の小林富子さんは「ママやパパの“困った”に対して、サポートしていくのがこの組織です。子育て中のご家族にとって予期しない出来事が多くあるものです。子育て支援、子育て相談など、いろいろとご相談ください」と笑顔で話していました。



◀ スタッフと会員の皆さんの笑顔があふれています。



2月16日、市内ライオンズクラブ（白河・白河高原・白河小峰）から、白河だるま市の収益金6万円が、愛の基金へ寄付されました。



1月27日、白河市音楽文化協会（藤田彌五兵衛会長）から、市民歌謡音楽祭の際に募った善意2万円が、愛の基金へ寄付されました。

善意の窓